

SC-IB NEWSLETTER

2026/03/16 発行

I 4・5月の茨城県連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月日	名称	主催/開設	内容
4月5日	スカウトコースを100%楽しむスキル講座	指導者養成委員会	WB(ウッドバッジ)研修所スカウトコース参加者を支援するための研修です。スカウトコースを予定されていない指導者の参加も大歓迎です。 「申込締切: 3月27日」
5月10日	第89回ボーイスカウト講習会	指導者養成委員会	指導者導入訓練であり体験を通してスカウト運動の概要とスカウト教育の原理と方法を学びます。 「申込締切: 4月30日」
5月10日	第11回安全危機管理研修基本	指導者養成委員会	事故に至らないような安全の管理、事故が起きた時の対処などを実技を通して修得します。 「申込締切: 4月30日」
5月24日	県連年次総会	茨城県連盟	
5月30日～31日	2026年度全国大会	日本連盟	社会への本運動の理解を広めると共に加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者双方からの情報交換の場として毎年開催されています。 「申込締切: 4月23日」

※上記各事業の参加申込締切が近づいています。地区コミッショナーや団委員長は各指導者の、また各隊隊長はスカウトの参加申込について、フォローの程宜しくお願い申し上げます。

II 事務局からのお知らせ

1. 2026(令和8)年度全国大会の開催について

全国大会は、社会へのスカウト運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催しています。

参加者が全国の多くの仲間と触れ合うことによって、本運動に関わっている喜びを実感し、意義を分かち合い、また、日本連盟や都道府県連盟の報告や体験ブースの出展、年次表彰のほか、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親の場を設け、幅広くスカウト関係者からの意見・要望を聞くことで、開かれた教育運動であることを示していきます。

スカウト関係者のみならず、地域の多くの方が参加できる全国大会を目指しており、本大会ではさらにボーイスカウト運動の魅力を強く発信し、本運動の拡充に寄与することを目指します。

・日程: 2026(令和8)年5月30日(土)～31日(日)

5月30日(土)午後: 開会式、全国スカウト教育会議(全体会)、表彰式、日本連盟諸会議
夕: 交歓会

5月31日(日)午前: 全国スカウト教育会議(テーマ集会)

両日: 体験プログラム(スカウティングエキスポ/こども体験まつり)

- ・会場：千葉県・幕張メッセ ほか
幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬 2-1)…開会式、スカウト教育会議、表彰式、エキスポ
TKP 東京ベイ幕張ホール(千葉市美浜区ひび野 2-3)…交歓会
JFA 夢フィールド(千葉市美浜区美浜 11)…体験プログラム
 - ・テーマ：千葉・房総から広島・神石高原へ、挑戦の風を届けよう
～地域と共に歩み、社会課題の解決に貢献するスカウティングを目指して～
 - ・参加者：どなたでも参加できます
ボーイスカウト加盟員(スカウト、指導者、育成会員、スカウトクラブ会員など含む)
スカウトの保護者、地域の皆さま
行政他団体や企業の皆様
 - ・参加費：3,500 円
 - ・交歓会参加費：12,000 円
※体験プログラムエリアは、どなたでも無料で参加できます。
※参加申込後にキャンセルがあった場合でも参加費の返金は致しかねます。
(交歓会のみ5月10日までのキャンセルは返金)
- 参加申込：4月23日(木)までに日本連盟ホームページの専用フォームから。
日本連盟お知らせ WEB ページ：<https://www.scout.or.jp/member/zenkokutaikai2026>

Ⅲ 各種委員会よりのお知らせ

1. 指導者養成委員会 (郡司委員長)

新年度4～5月の指導者研修は以下を予定しています。

- 4月5日(日) ウッドバッジ研修所参加者のためのスカウトコースを100%楽しむスキル講座
- 5月10日(日) 第89回ボーイスカウト講習会
- 5月10日(日) 第11回安全危機管理研修基本

なお、4月5日の100%楽しむスキル講座の開催場所が変更になっていますのでご注意願います。お間違いのないようお願いいたします。

開催場所：教住寺(〒309-1716 笠間市住吉 1183)

また、安全危機管理研修は県の定型訓練で指導者が受講必須とされる研修です。まだ受講されていない指導者は、ぜひ受講をお願いいたします。

2025年度は、各団、関係者の皆様にはたいへんお世話になりました。
2026年度も、よろしく願いいたします。

指導者研修は団の担当者が申込をしていただくようお願いしております。
個人で申込をしていらっしゃる方がおられますが、必ず担当者が申し込みをしていただくようお願い申し上げます。

2. イベント国際委員会（園部委員長）

2-1) ベンチャーラリー2025について

第7回(3月8日)の実行委員会を終え、参加者、宿泊地、ミッションの内容も決まりました。3月15日の第8回実行委員会を以って詳細を決定し、実施になります。近日中に実施計画書が示されますので参加するスカウトは必ず隊長の承認をもらってください。

ベンチャーラリー2025

- ・山手線一周ミッションハイク
- ・3グループに分かれて一泊で山手線を徒歩で一周し与えられたミッションを達成する。
- ・実施日：3月20日～21日
- ・宿泊地：大田区青少年交流センター
- ・参加者：17名

3. 地域連携・広報委員会（富田委員長）

3-1) 第5回広報セミナー(YouTube)開催案内

直前で恐縮ですが、日本連盟広報委員会主催の広報セミナー「未来を照らす広報ラボ」の第5回セミナーが3月22日に開催されます。

未来を照らす広報ラボとは、

- ・日本連盟広報委員会主催の広報セミナー！
- ・隔月で実施し全国各地の広報活動レベルアップを応援！
- ・広報に興味がある方であればだれでも参加可能！

第5回セミナー概要

- ・開催日時：2026年3月22日(日) 20:00～21:00
- ・テーマ：【各団向け広報マニュアル徹底ガイド！今日から使える広報の基本と実践】
- ・内容：
 - 広報活動における考え方
 - 加盟員を増やすための広報について
 - サポーターを増やすための広報について
- ・講師：木村直登氏(日本連盟広報委員長)
- ・参加方法：開催時間になりましたら YouTube Live に接続して視聴します。
接続先：<https://youtube.com/live/g0NYNJL-vvA?feature=share>
質問等は適宜コメントへ記入いただけます。

過去の広報セミナーは以下のリンクからアーカイブをご確認いただけます。

広報に興味がある方はぜひ積極的にご参加ください！

(ちなみに、第4回は指導者リクルーティングに関する提案等でした。)

・広報セミナー アーカイブ

<https://www.scout.or.jp/member/kouhousemina-archives>

・ドリームチーム 2.0 募集ページ

<https://www.scout.or.jp/member/prdreamteam>

IV 各地区・各団の活動紹介

1. 「めざせ！ポケモンレーナー」実施報告（日立第8団 熊谷勲）

少し前になりますが、11月23日に日立第8団にて日本連盟ポケモン連携事業の「めざせ！ポケモンレーナー」プログラムを実施しました。

雨天になることも想定し、5つのミッションについては体育館内で実施とし、オープニングはグラウンドで行い、ワイドミッションについては、体育館までの動線にて展開しました。参加スカウト22人、一般児童参加者13人を一緒にして組を編成しています。

各ミッションは実際にやってみるとうまくいかない点があり、事前に準備・検討を繰り返しました。特に「崖の上のポケモン」のロープ結びをどうするかなどで試行錯誤を繰り返しました。結果的には、真ん中に「引き解け結び」を作り、四方からのロープで引き解けを縮め、ポケモンを助けることにしました。

参加スカウトは、ポケモンランドのようなものを想像していたそうですが、実際はいつもの体験会と同様の内容だったとの感想がありました。一般児童の参加者からは、ポケモン感が薄い印象はあったものの、割りばし鉄砲や手裏剣づくりなどは楽しかったというコメントをいただきました。恐らく、参加した子どもたちや保護者の方々は、ポケモンを前面に出したイベントを想定したのではと思われます。



開催側の反省点としては、もっとスカウトのリクルーティングに合った内容とすべきでした。そのためにも、ポケモンキャラクターや音楽の使用制限が緩和され、ポケモンの世界をより容易に演出できるようになると良いと感じました。ポケモンのぬいぐるみの貸し出しなどもあると良いと思います。プログラム機材のセットにポケモンの横断幕や看板も含まれていると、開催準備も楽になるでしょう。



2. 【スキー研修】を開催しました（ひたちなか第1団 磯崎幸子）

ひたちなか第1団は、2月21～22日（1泊2日）50数名の参加で裏磐梯スキー場にてスキー研修を行いました。

当日は天候に恵まれ、優しいひたちなか市スキー連盟のインストラクターの方々の指導の下、スカウト達は楽しいスキーができました。また、SAJ バッチテストの検定を受け3級、4級、5級に合格し喜んでいました。ベンチャー隊は、スノーボードの指導を受け全員滑れるようになりました。

宿泊した磐梯青年交流の家では、食事・片付け・入浴・就寝等を自主的に準備し、楽しい時間を過ごせました。帰りのバスの中では疲れた様子もなく、しりとりやゲーム等々賑やかでした。

ひたちなか市に到着しバスから降りてくるスカウトの顔にはたくさんの笑みが見られました。



3. 第6地区 B-P 祭（第6地区）

2月21日に、地区内のスカウトと指導者が一堂に会し、BP（ベーデン・パウエル卿）のお誕生日をお祝いして、地区のB-P祭がおこなわれました。

小林地区協議会長のBPに関する講和に始まり、21IC（第21回茨城県キャンポリー）で展示された「スカウトヒストリー展」の展示品の説明がおこなわれました。

ブラウンシー島から始まったボーイスカウトの記録を、イギリス、アメリカ、スイスなどの現地に行かなければ手に入れることができない本物のワッペンや写真などで紹介したものです。今回は会場の都合で、残念ながらギルウェルのネッカチーフや制服などは展示できませんでした。

ノーマンロックウェルやジョセフキャタリーの絵は、アメリカ連盟から許可を受けた本物の展示で



す。これらは茨城県連盟維持財団の資金協力により、各国から収集したものです。

今回の地区でのスカウト歴史展は、21ICに参加できなかった地区内のスカウトや指導者に、ボーイスカウトの歴史のすばらしさを知っていただくために企画されました。大好評でした。

また香山イベント国際委員長から、パワーポイントを使った世界ジャンボリーの第1回から前回までの歴史や、各国のボーイスカウトの紹介があり、スカウトたちが開催国を世界地図上で示していました。来年は第26回世界スカウトジャンボリーがポーランドでおこなわれます。



ビーバースカウトは、国旗かるたで、各国の国旗や国の紹介を楽しみました。

BPの誕生日は1857年2月22日曜日です。

ロバート・ステイフェンソン・スミス・ベーデン・ポーエル (Robert Stephenson Smyth Baden Powell) がBPの名前です。



VI 連載コラム ～信仰奨励専門委員会より～



信仰する心、感謝の心

日本人は海外の人からみると宗教心がないと言われることが多いようですが、実際には古くから純粋で普遍的な信仰心が息づいていると思うのです。西洋の一神教とは異なり、日本人の信仰心は多神教的な考え方や、自然への畏敬の念に根ざしているのが特徴と言えます。日本国の成り立ちが八百万(やおよろず)の神であり、そこに中国から伝来した仏教、戦国時代に布教したキリスト教など多様な宗教が歴史の中で浸透しました。

日本人の生活には、様々な宗教の行事や風習が自然と溶け込んでいます。例えば、正月の初詣では神社に出向いて合掌し、願い事を唱えます。神社が観光旅行の目的であったり、ハイキング中でも神社に出会えばお参りをします。不幸があれば多くはお寺で葬儀を行い、残された親族たちが教導を賜り、仏様に手を合わせます。家庭でも、仏壇があればご先祖様に合掌します。お盆や彼岸にはお墓参りに行くなど宗教的な行動は多く見られます。結婚式では、神前式、教会式、仏前式など選択肢が多様化しています。出生祝いや七五三のお参りは神社、厄除け祈願は神社もお寺もあるようです。

年中行事では、クリスマスには讃美歌を歌い、ケーキを食べ、扮装したサンタクロースが出現します。ハロウィンには、カボチャのランプを飾り、魔女やお化けに仮装して町を歩く風習を真似します。バレンタインデーではチョコレートを贈ります。こうした異なる宗教の慣習が共存している日本は、世界的にも珍しい国であると言われています。

日本人の宗教観の大きな特徴の一つとして、山や川など、あらゆるものに神が宿るとされる八百万の神の思想が自然を敬い、すべての存在を「共に生きるもの」と見なし「すべてに感謝」とする感性に基づいていると思います。

ボーイスカウトの信仰心は「感謝」で表しています。感謝の気持ちを持つことは、個人の幸福感を高めるだけでなく、人間関係を円滑にし、健康にも良い影響を与えます。相手に対しても良い印象を与え、信頼感や親密さが高まります。命あるものへの感謝を表す「いただきます」や「ありがとう」など、すべてが日常生活の中に存在するもので、その自然の力を「神」という形でとらえ、その恵みに感謝する心を養うものが信仰であると思います。

(土浦第3団 大森育夫 信仰奨励委員)

